

「砂防Webフォーラム」で

紀伊山系砂防事務所でのDXの取組を講義しました

紀伊半島大水害から10年

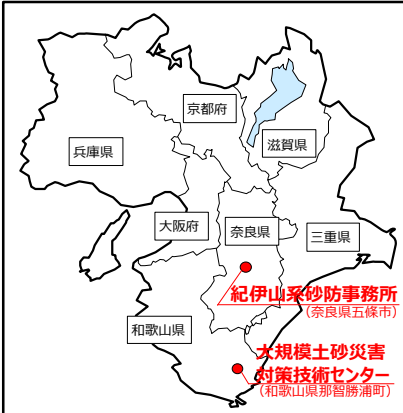
-あの日の災害を忘れない-

～紀伊山系砂防事務所・大規模土砂災害対策技術センター～

9月8日～9月10日の3日間、砂防に興味を持つ学生を対象とした「砂防Webフォーラム」(※)が本省にて開催され、全国の砂防事務所等から砂防事業等のオンライン講義を行いました。

このフォーラムにおいて紀伊山系砂防事務所・大規模土砂災害対策技術センターでは、自動化施工やUAVを用いた調査・点検手法の開発について、9月10日に講義を行いました。

(※) 砂防Webフォーラム：新型コロナウイルス感染拡大により中止となった「キャンプ砂防」の代替措置。「キャンプ砂防」は、中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える課題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的として、平成8年より実施されているもの。



<開催日>

令和3年9月10日(金) 15:30～16:30

<配信場所>

紀伊山系砂防事務所、大規模土砂災害対策技術センター

<参加者>

全国の大学生 約40名

<講義内容>

- ・紀伊山系砂防事務所の“しごと” (紀伊山系直轄砂防事業の概要)
- ・“自動で動く重機たち”による災害復旧工事 (自動化施工)
- ・そうだ！ドローン (UAV) を使おう～♪ (UAVによる調査・点検手法の開発)

“自動で動く重機たち”による災害復旧工事

自動化施工・無人化施工の概要について



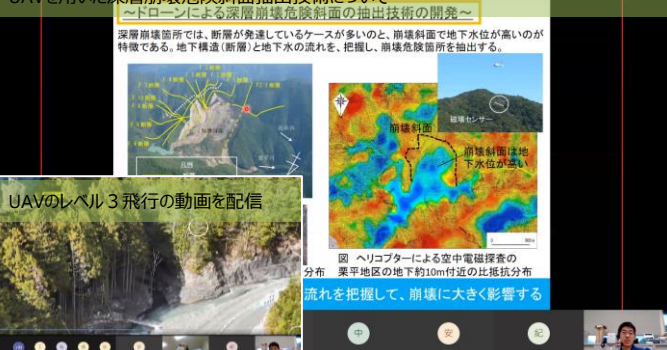
赤谷地区の被災状況について



現場作業の安全性の確保や施工性の向上を目的として、赤谷地区で取り組んでいる自動化施工について説明しました。

そうだ！ドローン (UAV) を使おう～♪

UAVを用いた深層崩壊危険斜面抽出技術について



深層崩壊危険斜面の抽出や出水後の崩壊地調査、施設点検等にUAVを活用する手法の開発について説明しました。

事務所での配信状況



講義を受けた学生さんからの主な質問

- ・崩壊斜面からの再崩壊や土砂流出を防ぐような取り組みはあるのか
- ・深層崩壊で発生した大量の土砂はどのように処分しているのか
- ・UAVを用いた崩壊発生危険箇所解析はどのような手法で行われているのか
- ・大規模深層崩壊箇所を把握できた場合、対策は可能なのか

【問い合わせ先】 国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課

〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL 0747-25-3111 (代)

